令和６年度静岡県中学校空手道錬成大会実施要項

　１．　主催　　静岡県中学校空手道連盟

　２．　後　　　　　援　　静岡県空手道連盟

　３．　主管　　静岡県中学校空手道連盟

　４．　期日　　令和６年７月２１日(日)

　５．　会場　　静岡県武道館　大道場

　６．　種目 　男子個人形、女子個人形、男子個人組手、女子個人組手

　７．　日程　　８：３０　　開場（準備の関係上、この時間以前の入場は出来ない）

　　　　　　　　　　　　　９：１０～　役員、審判員、顧問打ち合わせ

　　　　　　　　　　　　　９：３０～　開会式（整列はせず、その場で開始の挨拶）

　　　　　　　　　　　　　９：４０～　競技開始

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※入賞者（３位以上）のみ表彰

　８．　試合規則 全日本空手道連盟制定の審判規定に準じて行い、運用については全国中学校空手

道連盟及び本大会申し合わせ事項による。

　９．　参加資格　　年齢は２００９年４月２日以降に生まれた中学１年生～３年生とする。

　　　　　　　　　　　　　学校長が出場を認め、各学校の引率責任者の引率のある者。

　　　　　　　　　　　　　または、各所属団体の引率者及び保護者とする。（事故発生時の責任者を要する）

　　　　　　　　　　　　　２０２４年度の全日本空手道連盟の会員である者。

　　　　　　　　　　　　　試合抽選に関しては、事務局で責任をもって組合せ作成を行い、後日通達する。

　　　　　　　　　　　　　なお、個人戦名簿に記載されている選手をランダム抽選の上、作成を行う。

１０．　試合抽選　　抽選に関しては、事務局で責任をもって組合せ作成を行い、後日通達する。

個人戦に関しては記載されている選手をランダム抽選行う。

シード選手については「静岡県空手道連盟選手権大会」と「中学１・２年生空手道選抜大会」を反映させるものとする。

１１．　競技方法　　形・組手ともにトーナメント制とする。

　　　　　　　　　　　　　【組手】の競技時間は１分３０秒フルタイム６ポイント差で行う。

【形】個人形試合のみとし、トーナメント制とする。（フラッグ制）

競技方法については、申し込みの状況により変更する可能性あり

①男子の1回戦及び2回戦、女子の1回戦は、第一指定形の演武とする。

（トーナメント参照）　　　＊　形の繰り返し使用は認める。

　　　　　　　　　　　　　　②準々決勝は、第二指定形の演武とする。

　　　　　　　　③準決勝、3位決定戦、決勝戦は自由形の演武とする。

　　　　　　　　　　　　　　　＊　形の繰り返し使用は認める。

なお、指定形は次のとおりとする。

第一指定形

|  |
| --- |
| 松濤館：ジオン・カンクウダイ　　　　　和道：チントウ・セイシャン  糸　東：バッサイダイ・セイエンチン　　剛柔：セーパイ・サイファ |

第二指定形

|  |
| --- |
| 松濤館：エンピ・カンクウショウ　　　和道：クーシャンクー・ニーセーシ  糸　東：ニーパイポ・マツムラローハイ　剛柔：クルルンファ・セーサン |

１１．　表　　　　　彰　　各種目３位までとし、賞状を授与する。

１２．　出場制限　　形・組手いずれにおいても人数制約はない。

１３．　参加料　　個人形　１名　　　２，０００円

　　　　　　　　　　　　　個人組手１名　　　２，０００円

　　　　　　　　　　　　　形・組手ともに参加の場合は４，０００円

　　　　　　　　　　　　　下記口座へ期限までに振り込むこと。期限までに振り込みがない申し込みにつ　　　　　　　　　　　　　　いては出場を認めない。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 静岡銀行瀬名支店　（普）店番１３９　口座番号　０６４４２３３  静岡県中学校空手道連盟　事務局　濱口　祐輔 |  |

１４．　参加申込　　所定の申込書により、**６月１４日（金）必着**で申し込むこと。

なおメールでの申し込み、承ります。

　　　　　　　　　　　　　〒430-0947　浜松市中区松城町207－2　浜松開誠館中学校　濱口祐輔

　　　　　　　　　　　　　E-mail　　y-hamaguchi@kaiseikan.ed.jp

１５．　参加上の注意　（１）安全具は、ニューメンホーⅥかⅦ、ボディプロテクター、シンガード・インステップガード、拳サポーター（赤青）、セーフティーカップ「男子」）を着用すること。なお、セーフティーカップ以外の防具については全空連検定品を使用すること。

（２）試合中は安全具（メンフォー等）を正しく着用すること。

（３）選手は赤帯・青帯（全空連検定品）を着用して試合を行うが、各自で準備するものとする。

（４）当日の朝、入場者は各自検温し、体温が３７．５℃以上の場合、いかなる理由があっても大会には参加できない。

(５)応援については拍手のみを原則とし、試合進行の妨げとなるため、声を出しての応援は行わないこと。また、試合中の会場内での声をだしての練習は禁止とする。

１６．　その他 （１）大会当日、競技中に選手が負傷した場合は主催者が応急の処置はするが、 　　　その後の責任は一切負わない。

　　　　　　　　　　　　（２）大会会場の駐車場は役員、審判員以外準備してないので、生徒・保護者はＪＲ等最寄りの交通機関を利用すること。また、自家用車は近隣の有料駐車場へ必ず駐車し、無断駐車、違法駐車のないよう指導者は引率応援の保護者に対して指導すること。